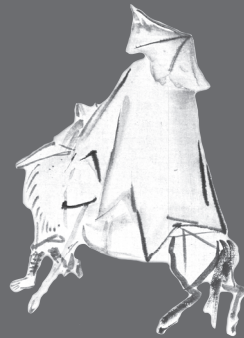




再考！芭蕉の筆跡



「古池や 蛙飛び込む 水の音」の句で有名な俳人・松尾芭蕉(1644～94)は、優れた俳諧作品や文学作品を残しています。その多くは没後に刊行された俳書や紀行文によって読むことができ、諸所に伝来する自筆の短冊や懐紙などを通して芭蕉の筆跡を知ることができます。そしてその筆跡は、彼の俳諧の作風(俳風)の変化とともに変容しているとの指摘がなされています。これまで、芭蕉の筆跡は、大師流や上代様など、江戸時代初期の諸派の影響を受けていると考えられてきました。しかし、資料全般を見直すと、そこまで明確な関連性はありません。この講座では、芭蕉の筆跡を改めて捉え直し、どのような書の影響下にあったのか探ります。また、芭蕉の書の魅力をご紹介するとともに、芭蕉の追い求めた書のかたちについて考察します。月曜の休館日に、ゆったり、じっくりと特別な時間を過ごしてみませんか。

講師：金子馨(出光美術館学芸員)

日本大学大学院文学研究科国文学専攻博士後期課程退学。日本大学助手、国文学研究資料館機関研究員を経て現職。博士(文学)。日本書跡、書誌学を専攻。「人麿影供900年 歌仙と古筆」(2018年)、「楽茶碗と京の華」(出光美術館 門司、2018年)などの展覧会を担当。

講座スケジュール

2019年 9月9日(月)

① 午前10時30分～12時30分(入場午前10時より 閉場午後1時30分)

② 午後2時～4時(入場午後1時30分より 閉場午後5時)

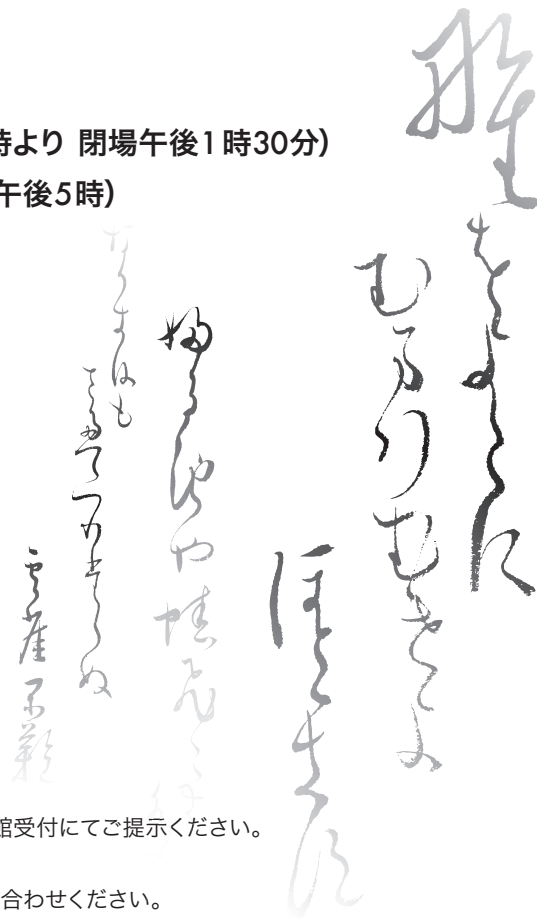
- * いずれも講座の内容は同じです。
- * 講義レベルは、大学での講義に準じます。
- * 各回とも講座のなかで、煎茶とお菓子の休憩時間を設けております。

募集人員： 各回 先着30名
(定員になり次第締め切らせていただきます)

受講料： 2,500円(入館料・資料代/煎茶・菓子付)

会場： 出光美術館
東京都千代田区丸の内3-1-1 帝劇ビル9階
(出光美術館専用エレベーター9階)

申込方法： 当館ミュージアムショップにて事前にお申し込みください。
* お電話等での申し込みはお断りしております。



- * お申し込み時に講座日時指定の受講票をお渡しいたします。当日ご持参の上、美術館受付にてご提示ください。
- * お申し込み後の変更、キャンセルはお受けできませんので予めご了承ください。
- * その他、ご質問等ございましたら、出光美術館学芸課内、特別講座事務局までお問い合わせください。